

国の医療政策と 北海道の地域医療のこれから

2026年

4月18日(土)

10:00-12:00 開場 9:30

会場

小樽商科大学札幌サテライト
札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル3階

定員

会場 50名
オンライン 200名

参加無料

2040年以降を見据えた「新たな地域医療構想」の策定が、2026年度から都道府県で本格的に始まります。地域ごとの人口構造や医療ニーズの質・量は大きく変化しており、医療提供体制は今、重要な転換点に立たされています。

本シンポジウムでは、人口減少・広域分散という特性を持つ北海道において、地域医療構想を「どのように描き、どのように現場で動かしていくのか」を多角的に議論します。

医療政策、医療機関経営、地域連携の視点を交差させながら、次の10年を見据えた地域医療のあり方と、その実装に向けたヒントを共有します。



カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 医学部 (内科)
公衆衛生大学院 (医療政策学) 准教授

津川 友介



北海道大学 大学院医学研究院 社会医学分野
医療政策評価学教室 教授

古元 重和

2025年度医療経営士の報告 / 2025年度 HUHMA の報告

事前にお申し込みが必要です



お申し込み方法

スマートフォンで QR コードを読み取り、必要事項を記入してお申し込みください

問い合わせ : 小樽商科大学 HUHMA 事務局
re-current-hm@office.otaru-uc.ac.jp

4月15日(水) 締切